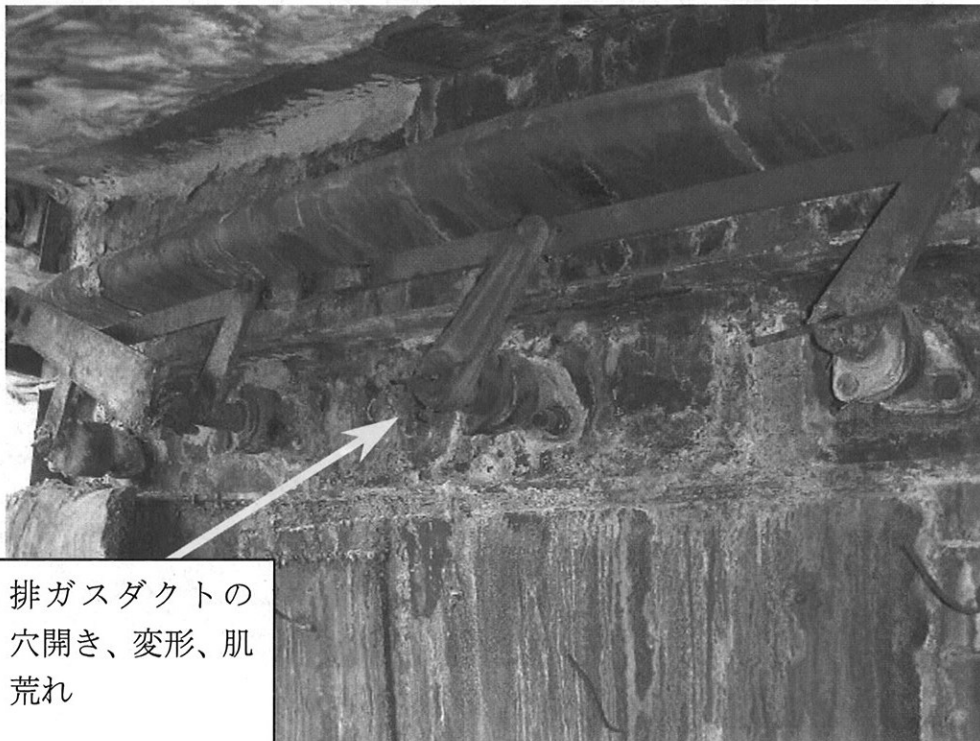




空気側と排ガス側  
シール部の欠損

Picture 5.1-17 1号機エアヒーター内部

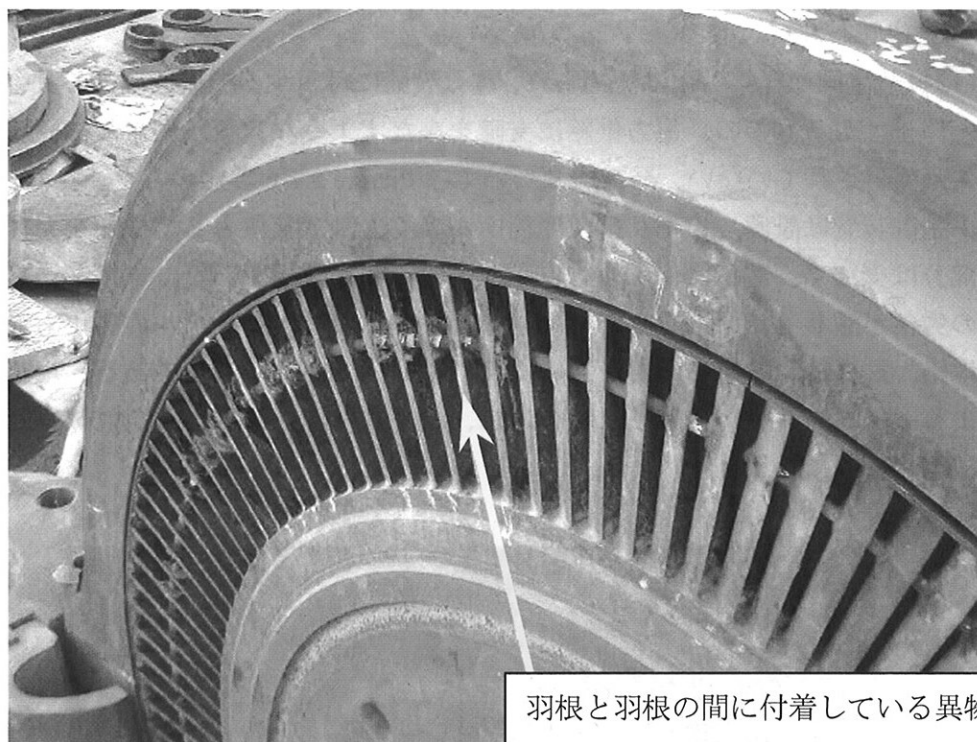
(手前が排ガス側、奥が空気側)



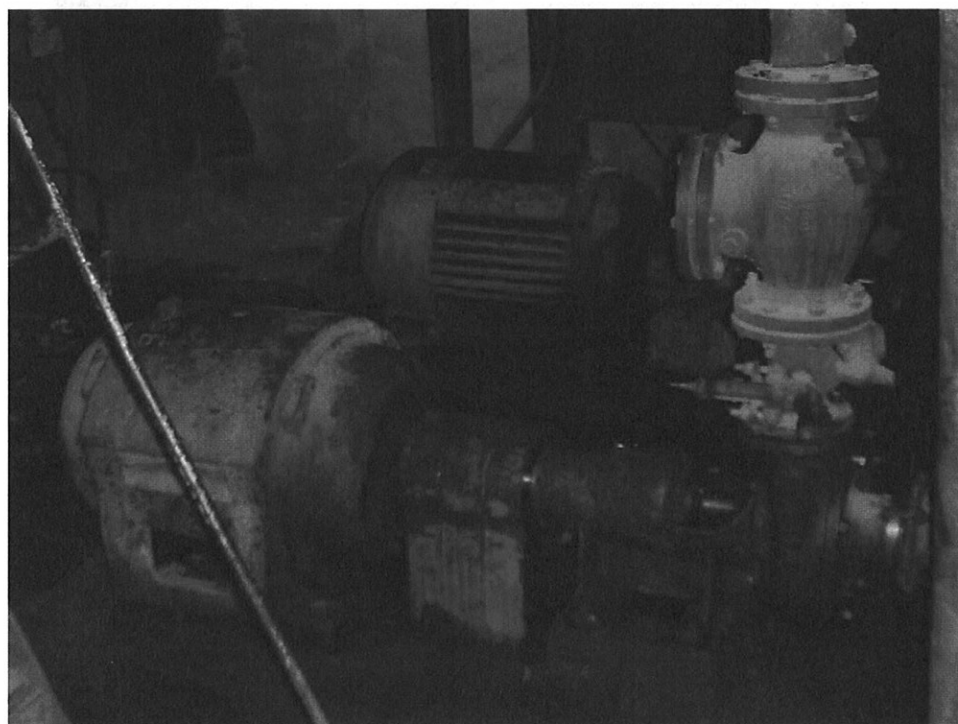
排ガスダクトの  
穴開き、変形、肌  
荒れ

Picture 5.1-18 1号機排ガスダクト

(保温を外した状態、かなりの劣化度合いであり、至る所に腐食による穴開きあり)



Picture 5.1-19 1号機中圧タービン動翼最終段



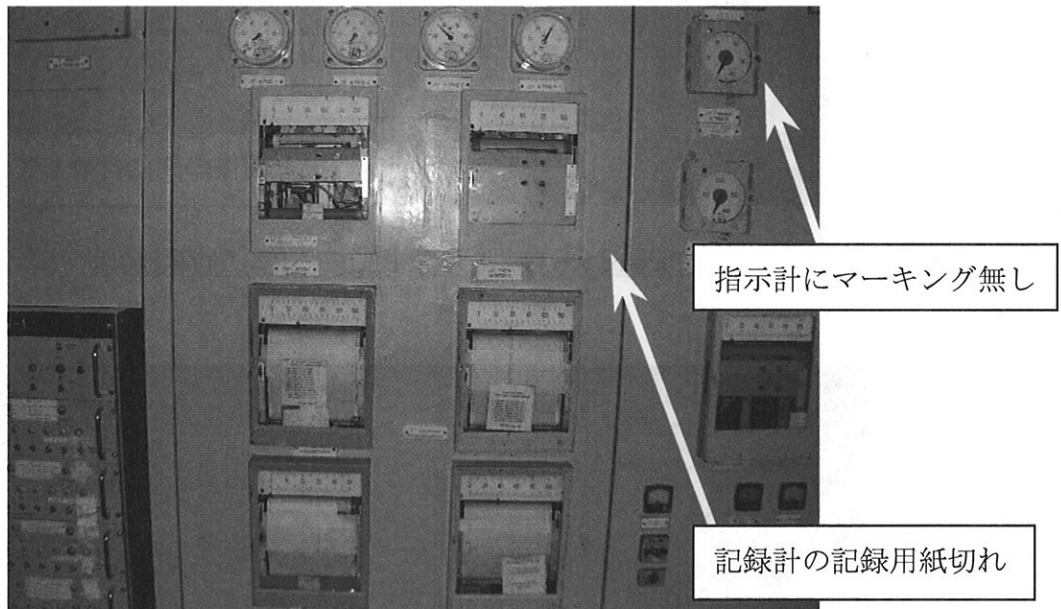
Picture 5.1-20 6号機エア－ヒーター軸受潤滑油ポンプ

(運転に支障はないものの清掃手入れがされていない)

## 2) 電気制御設備

機械装置同様経年劣化は認められ、電気設備に付属する機械装置の不具合による緊急停止はあるものの、電力供給に支障を来たすような電気設備事故に発展したケースは報告されていない。発電機については Picture 5.1-6 参照のこと。

制御装置は設備の劣化及び故障箇所が多く、制御装置として機能を発揮している部分は少なく、運転操作は手動に頼っているのが実情である。またケーブルトレイの劣化が激しく、原形をとどめていないだけでなく、ケーブルの劣化も見受けられ地絡、短絡故障の可能性が大きいため、絶縁抵抗測定が必要である。地絡・短絡によるケーブル火災が発生した場合には、(ケーブルシースの劣化状況から判断して)被害が甚大になると思われる。



Picture 5.1-21 6号機中操指示・記録計